



「ソーシャルボンド」への投資について ～SDGs達成に向けた取組み～

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行するソーシャルボンドへ投資しましたので、お知らせいたします。

「ソーシャルボンド」とは、調達された資金が社会課題の解決を目的とした事業に充当される債券です。

本債券の発行により調達した資金は、政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業の内、開発途上国における新型コロナウイルス等への対策の一環として、保健医療システムの整備、水・公衆衛生環境の改善等の感染症対策支援や、中小企業金融支援等の経済影響緩和支援等に充当される予定であり、国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs^(注)）」の達成に貢献するものです。

当行は、「百十四銀行 SDGs 宣言」及び「環境及び社会に配慮した投融資方針」を制定しており、今後もESG投資を通して持続可能な社会の実現につとめてまいります。

（投資したソーシャルボンドの概要）

銘柄名	第57回国際協力機構債券
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2020年12月25日
資金使途	政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業に充当
その他	株式会社日本総合研究所より、ソーシャルボンドの特性に従うものとしてセカンドオピニオンを取得しております。

（注）「**Sustainable Development Goals**」の略称。2015年9月の国連サミットで採択され、2030年までに国際社会が達成すべき「貧困や飢餓の根絶」「環境保全」「多様な人材の活躍」「技術革新」等の17の目標とそれを実現するための169のターゲットで構成されています。

以上